

令和 8（2026）年度 総合型選抜Ⅱ

芸術工学部芸術工学科 環境設計コース

実技① 資料の理解

（注 意 事 項）

1. 資料の提示が始まるまでこの冊子を開かず、記録用紙にも何も記入しないこと。
2. 配付物を確認し、過不足があれば挙手すること。
3. 配付物

問題冊子	1冊（この表紙を含めて2枚）
記録用紙	1枚（表面のみを使用すること）
4. 受験番号は記録用紙の受験番号欄に記入すること。
5. 記録用紙は実技①資料の理解終了後に回収され、実技②制作時に記録用紙のコピーが本人に渡される。
6. 記録には、鉛筆もしくはシャープペンシルのみを使用すること。

問題. 「資料の提示」で示される、ル・コルビュジエに関する資料の内容をふまえ、「開放と閉鎖の対比」について理解したことを、記録用紙の表面のみを使って自由に「図示」や「記述」し記録しなさい。

資料の提示中、記録用紙にメモをとったり、描いても構いません。

なお、提出された記録用紙は採点対象になります。

令和8(2026)年度 総合型選抜II

芸術工学部芸術工学科 環境設計コース

実技① 資料の理解 記録用紙
(全1枚)



令和 8 (2026) 年度 総合型選抜Ⅱ

芸術工学部芸術工学科 環境設計コース

実技② 制作

(注 意 事 項)

1. 問題冊子は「解答始め」の合図があるまで開かないこと。
2. 「解答始め」の合図があったら、配付物を確認し、過不足があれば挙手すること。
3. 次のすべての用紙の受験番号欄に受験番号を記入すること。
 - (ア) 解答紙
 - (イ) 描画用紙
 - (ウ) 台紙
4. 配付物は一切持ち帰らないこと。
5. 配付物

(ア) 問題冊子	1冊 (この表紙を含めて2枚)
(イ) 解答紙	1枚
(ウ) 下書き用紙	1枚
(エ) 描画用紙	1枚
(オ) 台紙	1枚
(カ) 「資料の理解」記録用紙 (コピー)	各自のもの1枚
(キ) 材料: スチレンボード	3枚
(ク) 材料: リップルボード	1枚
(ケ) 道具: カッターマット	1枚
(コ) 道具: カッターナイフ	1本
(サ) 道具: はさみ	1本
(シ) 道具: メンディングテープ	1個
(ス) 道具: 接着剤	1個
(セ) 道具: 直定規	1本
6. 制作したものは退室時にそのままにしておくこと。
7. 制作には配付された材料と道具のみを使用し、持参したものは使用しないこと。

- 問1. ル・コルビュジエに関する「資料の理解」をふまえ、与えられた材料を使って、台紙の上に「開放と閉鎖の対比」を表現する空間を制作しなさい（材料を使い切る必要はありません）。また、人のかたちの模型も作り、それを配置して空間にスケールを与えなさい。
- 問2. 制作意図がよくわかるような視点（見る位置）を決め、制作したものを描画用紙に描写しなさい。
- 問3. 「開放と閉鎖の対比」の解説を中心に、制作意図を解答紙に200字以内で論述しなさい。

※ 描画用紙と台紙は、受験番号欄のある面を用いてください。

※ 下書き用紙は自由に使ってください。

*けがをしないためのカッターナイフ使用の注意事項

- ①刃は短めに出す。
- ②利き手で鉛筆のように持つ。
- ③力を入れ過ぎないようにする。
- ④材料に直定規をあてて、定規に沿ってカッターを軽く動かすように切る。

